

停電に備えEVから電力確保 ブローチ研削工業所(浜松)装置導入

導入したV2H装置を紹介するブローチ研削工業所の担当者＝浜松市中央区



金属精密加工のブローチ研削工業所(浜松市中央区)は、電気自動車(EV)を事務所などの電力システムにつなぐV2H(ヴィークル・トゥ・ホーム)を本社に導入し、稼働を始めた。EVから電力を確保できるようにして停電に備える。EV1台の社用車への導入と併せて設置した。満充電のEV1台で照明や複合機などを約1日稼働できるという。平時は電力会社の電力や本社工場の太陽光発電設備の電力も活用してEVの充電に使用する。

総工費は補助金を除き約170万円。LPガス販売のエネジン(同市中央区)が提案した。

航空部品加工などを手がける同社は、過去5年ほどの間に台風などで複数回の停電に見舞われたという。小粥隆太郎社長は「最低限の社内インフラを維持できるようにしてリスクを低減したい」と話した。